

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路建設課長 井田 悦男 電話番号 0852-22-6456

事務事業の名称	地域間交流の強化・拡大のための生活道路の整備	
目的	(1) 対象	市町村中心部から遠い集落に居住する県民
	(2) 意図	市町村中心部へのアクセス時間を短縮します。
事業概要	集落から市町村中心部、バス路線等日常生活を支える道路の整備を行う。 事業実施箇所：54路線74工区 短縮目標時間：4.4分	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度					単位
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
総短縮時間	{(L/20)-(L/40)}×60 : Lは改良延長	目標値		85.00	96.00	108.00	117.00	分
		実績値	73.00	88.00	100.00	109.00		
		達成率		103.50	104.20	101.00		
指標名	式・定義	目標値		0.00	0.00			単位
		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	4,426,119	3,612,262
うち一般財源(千円)	359,658	198,691

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・道路予算が減少する中においても、平成26年度時点の達成率は101%で目標値をやや上回っており、概ね順調に整備を進めている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成26年度は下記6工区が完成し、部分供用が図られた工区と合わせた供用延長はL=5,801mで、これにより約9分の時間短縮が図られ、日常生活での利便性が向上された。

【完成工区】

- 掛谷大東線 宇谷工区
- 浜田作木線 鳴滝工区
- 大田桜江線 祖式工区
- 久利五十猛T線 大家3工区
- 国道485号 浦郷工区
- 安来木次線 真金工区

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・事業実施箇所が多く、まだ半数以上の整備予定工区が残っており、多額の予算確保が必要。

②困っている状況が発生している「原因」

・財源となる国の交付金については、個別の事業毎の配分ではなく、大きな枠毎での配分となっており、特別な需要に応じた要求が反映されにくい状況となっていることに加え、近年、既存施設の老朽化対策や通学路の安全対策の分野に厚く配分され、通常の道路改良への配分は低く抑えられる状況となっている。

③原因を解消するための「課題」

・地域の実情に応じた国費の配分。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国に対し地域の実情に応じて予算が配分されるよう丁寧に状況を説明するとともに、国の予算配分方針等を的確に把握し、工夫しながら、必要な予算が配分されるよう要望していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）